

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	144290	河原の坊施設管理事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-1	環境の保全		
	施策	2	自然環境の保全		
目的	自然公園施設の適正な維持管理				
対象	早池峰国定公園の登山者				
意図	登山者の利便性を図る。				
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○自然公園施設の維持管理 河原の坊総合休憩所（駐車場を含む）、早池峰山山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘					
市民参画の有無 [ 対象外 ]					
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会	
		後援・協賛		補助・助成	
事業協力・協定		委託			
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 河原の坊総合休憩所開館日数	日	計画	160	160	
		実績	160	160	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
自然公園施設の利用者が常に快適な状態において、自然公園施設を利用できるように維持管理を行った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	自然公園施設の維持管理については、行政が行う必要があり、県が自然公園施設を設置し、市が県からの委託により自然公園施設の維持管理を行っている。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	自然公園施設の老朽化に伴い、計画的な修繕を行うことにより、自然公園施設の維持が可能となる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は自然公園施設の維持管理であり、削減の余地はない。人件費については、委託事務と現地管理業務のため削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	対象を特定しないで登山者の安全が図られるので、公平で適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
早池峰国定公園内の管理施設は、広範囲に及んでいるが自然公園保護管理員との連絡を密にし、自然公園施設の適正な維持管理に努めている。 また、早池峰山山頂避難小屋の携帯トイレが通年化されたことにより、トイレの汲み取りはなくなった反面、すべての登山者に携帯トイレの使用について、理解を求める必要がある。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	04	01	07	144290	河原の坊施設管理事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		812	725		△ 87
財源内訳	国・県	812	725		△ 87
	地方債				
	その他				
	一般財源				

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標  
豊かな自然と生活環境の保全に努める。

事業開始の背景・経緯  
県では岩手県自然公園施設等管理要領により、河原の坊総合休憩所と早池峰山山頂避難小屋について、花巻市へ委託し維持管理している。また、鶏頭山避難小屋とうすゆき山荘は旧大迫町が設置し、市が維持管理を行っている。

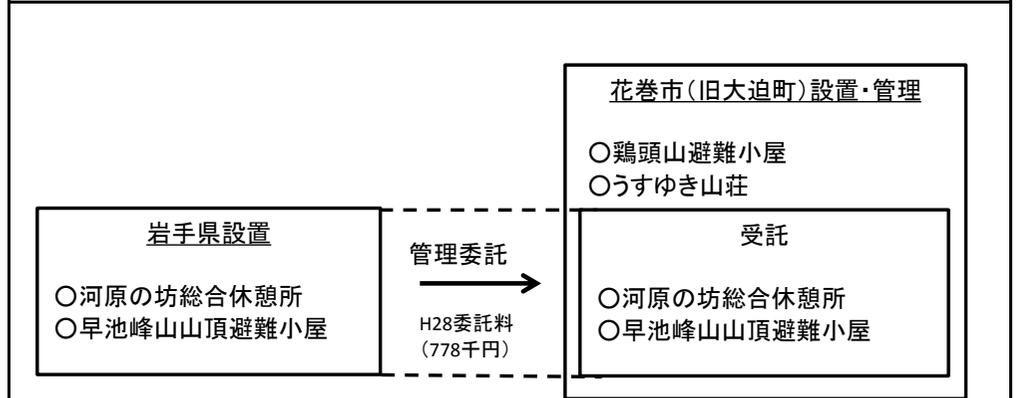
事業概要  
○自然公園施設の維持管理  
河原の坊総合休憩所（駐車場を含む）、早池峰山山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
早池峰山山頂避難小屋は耐用年数を経過し、長期的な維持管理に問題がある。

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 伊藤 玲 内線 920-223

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【積算内訳】□

11 需用費	201,036円	消耗品費	26,560円
		燃料費	166,484円
		修繕料	7,992円
12 役務費	53,130円	電話料	19,470円
		手数料	33,660円□
13 委託料	468,300円	施設管理委託料□	
14 使用料	3,000円	土地賃借料□	
合計	725,466円		